

みさと市議会だより



NO. 167

2016年11月15日号

発行 埼玉県三郷市議会

議会は市9組
No. 167
発行 埼玉県三郷市議会

主な内容

平成28年9月定例会

- ・ 論点「マイナンバーカードでコンビニ交付」・・・2
- ・ 平成27年度決算の審査概要・・・4
- ・ 市政に対する一般質問・・・6
- ・ 9月定例会提出議案とその結果・・・11
- ・ 読者の声、議会あれこれ・・・12



子ども議会行動宣言

市議会議場で、三郷市子ども議会が開催されました。厳粛な雰囲気の中、小学生が議員となり質問し、中学生が市長や部長となり答弁を行いました。また、各中学校区から、行動宣言が提案され、採決されました。(左下写真)



論点

9月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案が、どのように審議されたか、その要旨をお知らせします。

市民の暮らし向上のため 補正予算を可決しました



～証明書が全国どこでも
受け取れます～

9月定例会

9/1～21

9月定例会には、市長から「平成28年度三郷市一般会計補正予算（第1号）」など16議案が提出され、原案どおり可決しました。

議案第53号 平成28年度三郷市一般会計補正予算（第1号）による主な事業

▽本会議や委員会では次のような質疑がありました。

【基幹業務システム管理事業】

問 コンビニでの証明書発行に対応するためのシステム改修とのことだが、その詳細は。また、全国のどこかで不正、漏えいがあった場合は、どのような歯止め・罰則があるのか。

答 マイナンバーカードに搭載された電子証明書を利用し、全国の約4万8000店舗のコンビニエンスストアで午前6時30分から午後11時まで、証明書が取れるようになる。不正アクセスに対しては、マイナンバー法をはじめとした様々な法令などで規制

されている。サービス開始は平成29年9月ごろを予定している。

問 情報の管理方法は。

答 各コンビニで申請手続きがされると、三郷市に情報が入る。市のサーバーから該当証明書の情報だけを暗号化して、その情報がコンビニ端末から発行される。情報を管理しているのは三郷市である。

問 他市では納税証明書や、記載事項証明書も発行予定とのことであるが、三郷市で発行しない理由は。

答 納税証明書は納税データ反映にタイムラグが生じてしまうこと、記載事項証明書は窓口での聴き取りや説明が必要となることが多いことから、混乱を防ぐために導入しないこととしている。

【コンビニ交付の証明書】

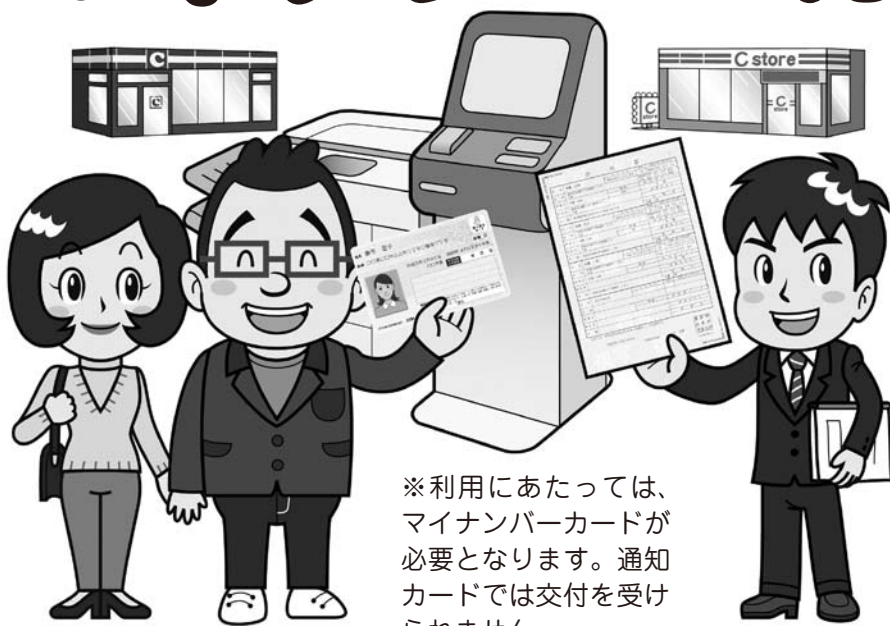
※平成29年9月予定

- ・住民票の写し
- ・印鑑証明書
- ・戸籍謄本（戸籍全部事項証明書）
- ・戸籍抄本（戸籍個人事項証明書）
- ・課税（非課税）証明書
- ・戸籍の附票

最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告し、採決の結果、賛成多数で可決しました。



マイナンバーカードでコ



※利用にあたっては、マイナンバーカードが必要となります。通知カードでは交付を受けられません。



市役所の諸証明交付窓口

◆補正予算に盛り込まれたその他の事業◆

【市制施行45周年記念事業】

問 具体的にどのような事業を検討しているのか。

答 45周年記念式典を開催し、日ごろ市にご協力いただいている市民・各団体への感謝状を授与する。また、小中学校の子どもたちによる運営、アトラクション等を検討している。

【教科指導推進活動事業】

問 道徳教育を推進するとは具体的にはどのような事業内容か。

答 学習指導要領の改正をふまえ、多角的に物事を見て、自分自身で判断していく価値観を育む道徳教育を推進していく。



道徳授業のようす（南中）

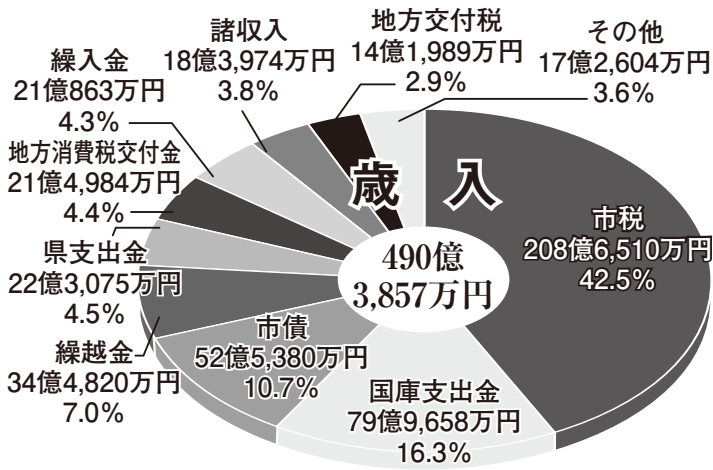


大地震で倒壊した家屋

【応急危険度判定士の資機材購入】

問 大地震で家屋が倒壊した場合、応急危険度判定士による早急な診断が必要なため、資機材を購入するものだと思うが、どれくらいの数量を想定しているのか。

答 市外からの応援も含め、のべ1330人分の資機材が必要になると想定している。発災後3日間は県がストックしている資機材の調達が難しいと考えており、その期間に必要な数量をあらかじめ用意しておく。



歳入区分	説明
市税	市民税、固定資産税など
国庫支出金	特定の事業のために国から交付
市債	市が長期にわたって借りるお金
繰越金	前年度一般会計からの繰り越し
県支出金	特定の事業に対して県から交付
地方消費税交付金	県の地方消費税収入の中から交付
繰入金	基金や特別会計からの繰り入れ
地方交付税	財政状況に応じて国から交付



新型40m級はしご車

税金の使い道を確認

—平成27年度決算をチェック—

議案第58号「三郷市一般会計歳入歳出決算認定について」、本会議及び各常任委員会での審査の要旨をお知らせします。

平成27年度の主な事業

- ☆第4次三郷市総合計画後期基本計画を策定
- ☆三郷市版人口ビジョン・総合戦略の策定
- ☆第4次みさと男女共同参画プランの策定
- ☆シティセールス冊子「クロスみさと」の発行
- ☆避難支援に関する個別支援計画の策定
- ☆三郷市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）の策定
- ☆上口調節池における陸上競技場の基盤整備工事
- ☆40メートル級はしご車の更新

みさと救急フェスタで救急活動をPR

《総務常任委員会》

歳入では、コンビニ納付の件数（現年・滞納繰越分）は市税で11万2182件、国民健康保険税で6万9938件あった。

歳出では、市ホームページをリニューアルし、情報の多い文化振興公社などからも更なる可能性となり、さらに多くのイベント情報を提供できるようになった。

救急フェスタでは、救急車の適正利用、応急手当てをアピールする内容でパパママ救

急講座、子ども向け救急隊お仕事体験などを実施したとのことでした。

討論として、「国に大企業の税率引き下げはやめ、元に戻す要望を（反対）」などがありました。

広聴事業におけるスマートフォンの活用

《市民福祉常任委員会》

広聴事業では、爆破予告が閉庁日にインターネット市民の声に投稿された事件を契機に、休日や夜間の緊急事態に早急に対応するため、職員が退庁後にスマートフォンを携帯し、受信した市民の声を転

送するようにした。

生活保護事業として、ジェネリック医薬品の活用を推進しており、平成27年度は、県内でも普及率が4位と高いほうだが、未だ理解を示されないうかたもいる。引き続き啓発等促進を図っていく。

送迎保育の安全対策について、バスに保育士を1名同乗させ、事故を起こさないようにしている。また、送迎保育事業の委託先から事故報告は受けていないとのことでした。討論として、「子育て支援制度のスタート年だが待機児童の見通しが立っていないため反対」などがありました。



整備が進む彦成川（半田運動公園付近）

平成27年度

特別会計決算

5つの特別会計決算は、各常任委員会で審査し、本会議において認定しました。



国民健康保険

歳入 201億1,320万円
歳出 199億3,822万円

審査では、保険税の4割軽減の世帯数は、平成28年3月時点で2,710世帯であり、平成26年度より225世帯分増えているとのことでした。

討論として、「本市の財政は厳しいままであり、国庫負担を引き上げを国に強く求める（反対）」などがありました。



介護保険

歳入 67億7,418万円
歳出 66億6,224万円

審査では、総合支援事業への移行準備期間の取り組みとして、関係各課が集まって、協議会メンバーの選出に向けた要綱づくり等を行ったとのことでした。

討論として、「給付制限となったかたには、ペナルティを中止するよう求める（反対）」などがありました。



後期高齢者医療

歳入 10億6,034万円
歳出 10億5,503万円

審査では、平成27年度末の被保険者数は、12,593人で、前年度より1,051人増加したとのことでした。

討論として、「保険料の引き下げを県に求めるよう要望する（反対）」などがありました。



上水道事業

(※) 歳入 29億8,536万円
歳出 34億9,597万円

審査では、水道料金の滞納対策については、戸別訪問による相談や分割納付など、柔軟な対応を行っているとのことでした。

討論として、「分担金は収益的収入として取り扱い、収支改善を図るべきである（反対）」などがありました。

※決算額は収益的収支と資本的収支の合計額です。

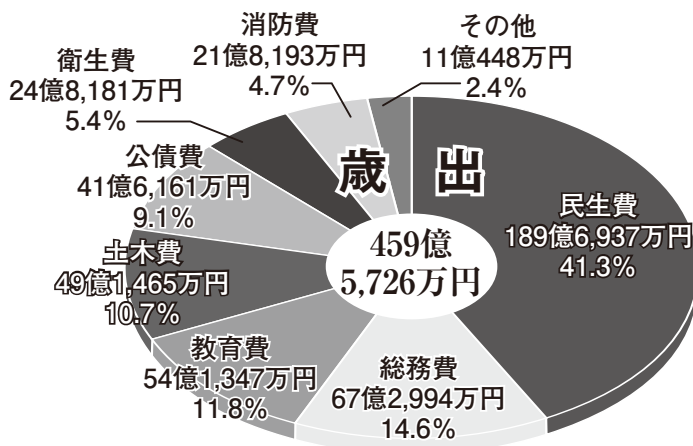


公共下水道事業

歳入 47億2,948万円
歳出 42億5,671万円

審査では、中川水循環センターで処理する水量のうち、10%から15%が不明水と言われている。現在は、雨水が流入しにくい構造のマンホールや塩ビますを使うなど、対策を講じているとのことでした。

討論として、「国の補助金をさらに要望し、整備を進めるべきである（反対）」などがありました。



歳出区分	説明
民生費	老人福祉費、保育所費、生活保護など
総務費	防災や防犯、住民票の交付、選挙費など
教育費	学校教育費、体育施設の管理・運営費など
土木費	道路や河川、公園整備などに使うお金
公債費	市債の返済金
衛生費	ゴミの収集や予防接種など
消防費	消火・救急活動などに使うお金
その他	議会費、商工費、農林水産業費など

**農業と観光の
タイアップを推進**
《文教経済常任委員会》

市内には風光明媚な農地があり、農地の多面的な機能を生かしつつ都市型農業の振興に取り組んでいる。農業と観光のタイアップについて、さらなる研究に取り組んでいきたい。

日本一の読書のまち推進事業では高校生以上の若い世代に対しての取り組みとして、高校生図書館司書が選んだ本のリストを市内図書館に配置

している。今後、市内の県立高校に読書に関する情報提供や働きかけを行うとのことでした。

半田運動公園と一体となった彦成川改修工事がほぼ完了
《建設水道常任委員会》

彦成川改修工事は、半田運動公園の部分に関しては、公

討論として、「観光事業において庁内関係各課と連携したPRで三郷市を県内外に広めていくことを期待する（賛成）」などがありました。

園と一体的に、景観に配慮した護岸整備をしており、一部を残してほぼ完了した。

半田運動公園には、新たに管理棟を整備した。来年度から管理人を常駐させ、入り口の開け閉めも含めしっかり管理していくとのことでした。

討論として、「インターA地区の土地区画整理事業に多額の補助金を支出しており、反対する」などがありました。

最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告し、討論・採決の結果、賛成多数で可決しました。



市政に対する

一般質問

— 質問議員 —

篠田 正巳	鳴海 和美	佐藤 睦郎	逢澤圭一郎
村上香代子	佐藤 裕之	加藤 英泉	稲葉 春男
工藤智加子	和田 司	佐々木 修	森 忠行

市民の要望を市政に反映させるための一般質問は、各種の行政課題を取り上げて、3日間にわたり12人の議員が活発な論戦を展開しました。 ※記事掲載は順不同。内容は一部抜粋しています。

戸ヶ崎3丁目交差点の安全対策を

議員

2車線道路の天王橋通りと4車線道路の県道松戸草加線の交わる戸ヶ崎3丁目交差点。県道には右折車線帯が設けられ一部5車線となり、通学路にも指定されている。天王橋通りを歩き県道を横断するときに、途中で信号が変わり渡りきれない児童・生徒がいると聞く。そこで歩行者用に、中央分離帯にフェンスなどの安全対策が必要ではないか。また、新聞報道等でも高齢者が逆走する痛ましい事故があり、中央分離帯にポールや反射板の設置が必要と考える。さらには、今後の高齢化社会の中で早く歩けない高齢者の安全対策として歩車分離式の歩行者専用信号の導入を考える必要があるのではないかと。環境安全部長 歩行者が横断しにくい交差点は、吉川警察署に歩行者専用信号機の青信号点灯時間の延長を要望する。あわせて道路管理者に子どもから高齢者まですべての歩行者が安心して道路を横断できる安全対策及び、運転者が車線



戸ヶ崎3丁目交差点

を間違えずに右折できる逆走対策を要望していく。

その他の質問 教育問題など。

女性の健康相談窓口の

設置について

議員 女性活躍推進法が施行され、さらに活躍の場が広がること

が期待される。すべての活動において健康が支えであるが、女性は生涯を通じ出産や更年期障害、骨粗鬆症などいくつかの健康不安の時期がある。このような、女性の生涯における健康について、一番身近な窓口である市が様々な健康相談にのりアドバイスや医療への勧奨をサポートできるように、女性

の健康相談に特化した窓口の設置について伺う。

市民生活部長

現在、市では、妊娠から出産後、そして乳幼児から高齢者まで、すべてのかたを対象に、保健師や助産師、栄養士が電話や来所、訪問などによる健康相談を実施している。平成27年度の相談件数は3932件で、女性からの相談は全体の6割を占めている。話を傾聴し、症状に応じた保健指導を行い、医療機関や関係機関を紹介するなどの対応をとっている。今後も女性が安心して暮らすことができるように、女性の生涯を通じた健康の相談窓口があることを周知していく。

その他の質問

防犯問題。



女性の健康づくりをサポート

ギリシャ共和国との 海外友好都市提携を

議員 三郷市は、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けて、ギリシャ共和国のホストタウンに登録された。今後、同国からのお客様を迎え、様々な行事が実施されることとなるが、大会後も交流を継続し、未来にわたって友好の絆を結んではどうかと考える。そこで、ギリシャ共和国のいずれかの都市と、三郷市にとって初となる海外友好都市提携へと発展させることについて伺う。

市長 ホストタウンは、オリンピック・パラリンピックの開催により、地域活性化の推進や人的・



カラツォリス大使と本津市長
(ギリシャ大使館にて)

経済的・文化的な相互交流を図ることを目的とした制度である。ギリシャ共和国との教育・文化交流を市民総ぐるみで重ねていくことで得られる経験は大きな遺産になると期待している。友好都市提携

についても、ギリシャ共和国と市民との文化交流やスポーツ交流等を深めていくことで市民や関係団体の機運も高まってくつと思われ。今後、国際化施策の推進と合わせ検討していく。

その他の質問 選挙問題。

臨時職員の処遇改善を

議員 長時間労働や非正規雇用など「働き方改革」が国の重要課題になっていくなか、地方自治体で働く非正規職員も増加している。同一労働同一賃金については、ガイドライン作成や総務省からの通知があるが、①それについての見解と対応を伺う。②三郷市の臨時職員の実態について、人件費の推移は。③公共サービスの担い手の多くが臨時職員であることの課題は。④特に保育士のような専門職の場合、同一労働にも関わらず、

その待遇には大きな格差がある。見直しを図るべきである。

市長 ①国からガイドラインが示された際は、その趣旨に沿った検証を行いたい。

企画総務部長 ①総務省の通知の趣旨を踏まえて適正に任用しているが、任期付職員制度等について調査研究中である。②正規職員の給与等は減少傾向にあるが、臨時職員は増加傾向にある。③増大する業務に速やかに対応するためにはあるが、今後は正職員を増員する計画である。④専門的なスキルの高い臨時職員等の処遇改善については総合的に検討していく。

その他の質問 緑の基本計画。

教育長退任にあたっての総括

議員 榎本教育長の10年間の総括を問う。

教育長 私は教育の要諦として、筋を通す、論より証拠、簡潔明瞭を基盤として三郷の教育三つの宝を定め、心身ともに健康で社会に有為な日本人育成のため市民総ぐるみの旗幟鮮明な教育行政を推進してきた。この間、元氣な挨拶、規律ある授業態度、大舞台で堂々と自分の考えを述べる姿など、子ども達のたくましい成長が見られ、活躍の場を全国へと大きく広げてきた。このことは、ひとえに勇氣と覚悟をもって歯を食いしばってがんばった歴代の校長先生方と学校応援団、保護者、地域の方々のご支援の賜であると考え。子どもは、大人の言うように育たず、大人のするように育つ。正に、教育の無限の力を子ども達の姿から、教えられた気がする。今後、三郷の教育がさらなるステージへと発展していくことを祈念し、そして、ここまで成長した子ども達が担う三郷の将来に大きな期待をしている。

その他の質問 交通対策など。



子ども達が担う三郷の未来

女性活躍推進が

三郷市からも

議員 現在、政府が成長戦略の柱として「女性の活躍推進」を位置づけたことで、自治体や金融機関が、女性の就業・起業を積極的に支援し始めている。また、平成27年8月に「女性活躍推進法」が制定されたが、本市の取り組みを伺う。

企画総務部長 市では、法律や計画に基づき平成28年3月「第4次みさと男女共同参画プラン」を策定した。また市役所で働く女性職員の活躍を推進するために「三郷市特定事業主行動計画」を改訂した。女性の積極的な採用や、活躍



女性活躍の第一歩
(新規採用職員研修)

の場の拡充等を目標に掲げ、採用する女性職員の割合を40%以上、係長級職員の女性の割合を35%以上、消防職においては採用する女性の割合を5%以上と公表している。本年4月1日現在の女性職員の割合は約34%、係長職26%、消防職5%である。今後も庁内研修や昇任試験の受験勧奨、女性職員への研修機会の付与、採用におけるPR等、女性登用の推進に向け、さらなる男女共同参画の促進に取り組んでいく。

その他の質問 治水問題。

透明性・公平性が高い

職員採用試験の実施を

議員 通常、公務員一般職の採用試験の内容は、第1次が一般的知識と知能の学力確認のための五肢択一式の教養試験と、文章による表現力、課題に対する理解力等、能力に関する論文試験がある。第2次は面接試験で、個別と集団があり、第3次は個別面接と心理適性検査、他に集団討論もある。三郷市の採用試験は、第1次に教養試験はあるが、論文試験がなく、第2次、第3次とも個別面接と

なっている。人物や能力、思想など客観的な判断材料の論文がないなか、どれほど受験者を理解し、判断できるのか。論文試験は欠かせないものであると考え。個別面接だけでは採用担当者の偏見などが入る余地もあり、透明性、公正、公平性が保たれるのか危惧されるのではないか。

市長 本市では筆記試験と副市長を含めた2回の面接により採用を行っている。引き続き優秀な人材を確保するため、試験内容、試験の実施時期、内定通知の発送時期等を検証し三郷市の求める人材像を明示するなど、よりよい採用試験の実施について検討していく。

その他の質問 まちづくりなど。

子どもの貧困実態調査と

早期発見のために体制強化を

議員 厚生労働省は昨年の9月、子どもの貧困対策として、子どもの生活実態に関する初の全国調査を実施。都道府県をおして手を挙げた自治体は、独自の調査項目で実施した。子どもの貧困は潜在化し、表に出てこないといった深刻な問題を抱えていることから、

こうした調査が有意義なものとなり、自治体によっては調査結果を踏まえた具体的な施策が打ち出されている。調査を実施することについて市の考えは。また、自ら貧困だといえない現状のなか、自治体職員が、乳児健診時や学校教育の現場など、あらゆる機会をとらえて子どもの生活実態を早期に把握する必要があるが、体制強化についての考えは。

市長 「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が制定され、各自治体で様々な方法で調査を行っている。今後、都道府県で実態調査を行う動きもあるので、参加して実態の把握をしていきたい。また、児童相談所、保健所などの機関とも連携を強化していく。

その他の質問 防災対策など。



既存市街地に公園を

議員

三郷市都市公園条例では、第2条第2項として市街地の都市公園における当該市街地の住民1人あたり敷地面積の標準は5平方メートル以上とする。また、第3条では、本市における都市公園の分布の均衡を図り、防火、災害時避難等に資すると書かれている。

①三郷市の公園面積、都市公園面積、県内の平均と順位は。②既成市街地の公園設置は切実であり、用地買収を含め、みどりの基金を活用すべきである。さらに、市の資源を生かした緑化についての考えは。

まちづくり推進部長

①三郷市に



カンガルー公園 (三郷2丁目)

における平成27年度末の都市公園や、ちびっ子広場などの公園の合計面積は、約75・4ヘクタール。このうち都市公園面積は約40・8ヘクタールである。1人あたりの面積は県内平均6・84平方メートル、本市は2・95平方メートルと、県内61市町中49番目の整備率である。②今後は、みどりの基金の充実や新たな財源の確保なども検討する。また、国道298号沿線など、植栽地管理の充実や緑化エリアの拡大について、国や関係団体と連携し取り組んでいきたい。

その他の質問

収税問題など。

組織や費用対効果を検討し 市民サービス向上を

議員

①平成26年に組織改編を実施し部署を増やし、より小さな組織にしたが、これにより市民サービスの向上が図られたのか。むしろ責任分散になってしまったのではないか。②公園や道路管理について、雑草の繁茂している公園や駅前広場の良好な管理も市民満足度向上には必要と思うが、外部委託ではなく職員自ら管理することについて費用対効果を検証し考え

るべきではないか。

市長

①近年では部署間にまたがる横断的な取り組みや、専門的な知識や技能を求められる取り組みも増えている状況である。これらについては、部署間の連携を密にするなど、各部署において創意工夫を凝らしながら行政サービスの向上に努めている。

企画総務部長

②市民満足度の向上のため、市民の目線を忘れることなく迅速な対応を考えているが、事業手法についてはトータルコストを含め検討していく。

その他の質問

文化行政。

防災ラジオの普及を

議員

現在、市からの災害時等の周知方法は防災行政無線による放送が基本とされている。しかし、近年の住宅の気密性の向上により、音声が届きにくくなっており、また一部に聞き取りにくい場所もある。そこで、災害時等における情報伝達の充実、強化を図る一つの手段として防災ラジオが考えられる。防災ラジオは市が発信する防災行政無線や緊急情報が



10月に実施した防災訓練 (みさと公園)

屋内で聞け、電源オフの状態でも緊急情報が優先して流れ、聞きそびれても最後に受信した放送が聞ける特徴がある。厚木市では4000円の自己負担で5000台の有償配布の募集をしたところ抽選となった。本市での防災ラジオの普及について伺う。

環境安全部長

市では防災行政無線を補完するため広報車の巡回による伝達や防災行政無線確認ダイヤル、メール配信サービスなどにより情報伝達手段の多重化に努めている。防災ラジオの普及については、先進自治体の導入事例を参考に、本市における特性や防災ラジオの長所・短所を勘案しながら、引き続き調査・研究していく。

その他の質問

教育問題など。



市内ロケの様子（新三郷駅）

議員 ①市では、イベントや子育て、福祉サービスなどの情報をホームページや広報紙などを使って発信しているが、フェイスブック、ツイッター等のSNSなど、より様々な手段を利用して複合的に情報を発信してはどうか。市民が必要とする情報がさらに確実に多くのかたに届くのではないかと。②市内で映画やドラマなどの撮影があるときに、市では三郷市ロケーションサービスが撮影支援に取り組んでいる。その際に必要なエキストラやロケ地などを事前に登録する制度を採り入れてはどうか。

**SNSを活用するなど
積極的な情報発信を**

企画総務部長 ①現在、SNSによる市の情報発信源としては、フェイスブックとツイッターを活用している。今後も、これらのSNSを活用し、より多くの共感が得られ、誰かに広めたくなる気持ちを起こす鮮度の高い情報を提供していく。それにより市の魅力の再発見や市民としての誇りや一体感の醸成に繋げていく。
産業振興部長 ②エキストラ登録制度については、三郷市ロケーションサービスの開始もまもなく、手さぐりの状況である。今後、制作会社などからの要請が多くなってきた段階で改めて検討したい。

◆議会の詳細は「会議録」で

三郷市議会ホームページ又は、市役所内の市政情報コーナー、図書館などで「会議録」を閲覧することができます。なお9月定例会の会議録は11月下旬に更新する予定です。

▶会議録速報版を公開…閉会から1か月を目安に、ホームページにてPDF形式で公開していますので、ご覧ください。

※「会議録速報版」は校正前原稿のため、正式な会議録ではありません。

三郷市議会 会議録

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

議会傍聴は、議会活動に触れる最も身近な方法です。本会議や委員会では、市民の皆様の生活に直接関わる重要な問題について、活発な議論が交わされますので、市政への理解を深めていただくためにも、市議会の傍聴をしてみませんか。

傍聴日時：議会は3月・6月・9月・12月に開催されます。
傍聴場所：市役所の7階にあります。
※議会傍聴で手話通訳または要約筆記を希望されるかたは、傍聴希望日のおおむね14日前までに議会事務局までお申し込みください。
(☎048-930-7768)



傍聴席60席うち車椅子席3席

- 本会議の当日、傍聴人受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで自由に傍聴ができます。ただし場内では、次のことを守りください。
 - (1) 騒ぎ立てたり、拍手をするなど、議場への迷惑となるような行為をしないでください。
 - (2) みだりに立ち上がるなど、威圧的な行為をしないでください。
 - (3) 携帯電話・カメラ・録音機等は使用できません。
 - (4) 飲食または喫煙をしないでください。
 - (5) その他、議場の秩序を乱し、または会議の妨害となるような行為をしないでください。
- ※傍聴されるかたは、すべて議長、または係員の指示に従ってください。
- 次回の定例会は12月に開かれます。10時から開会となります。

【平成28年12月定例会の予定表】

月 日	曜日	会議別
12月1日	木	本会議
12月5日	月	本会議
12月6日	火	委員会
12月9日	金	本会議 (一般質問など)
12月12日	月	
12月13日	火	
12月14日	水	

9月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

○=賛成 ×=反対 △=棄権

号	件名	結果	21世紀	政志会	公明党	共産党	市民派	無所属
51	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○
52	三郷市情報公開条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
53	平成28年度三郷市一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	×	○	○
54	平成28年度三郷市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○
55	平成28年度三郷市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○
56	平成28年度三郷市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○
57	平成28年度三郷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○
58	平成27年度三郷市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○	○
59	平成27年度三郷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○	○
60	平成27年度三郷市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○	○
61	平成27年度三郷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○	○
62	平成27年度三郷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○	○
63	平成27年度三郷市上水道事業特別会計未処分利益剰余金の処分及び決算認定について	可決及び認定	○	○	○	×	○	○
64	教育委員会教育長の任命について	同意	○	○	○	△	○	○
65	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○
66	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	△	○	○

※このほか報告23件が提出されました。また、選挙第2号「江戸川水防事務組合議会議員の選挙」を行いました。

会派名（人数）	所属議員名
21世紀クラブ(6)	市川 文雄(議長)、菊名 裕、岡庭 明、野村 徹、逢澤 圭一郎、加藤 英泉
政志会(3)	篠田 進、佐藤 裕之、佐々木 修
公明党(5)	酒巻 宗一、中野 照夫、鈴木 深太郎、佐藤 睦郎、鳴海 和美
日本共産党(3)	稲葉 春男、工藤 智加子、和田 司
市民派クラブ(2)	篠田 正巳、村上 香代子
無所属(1)	森 忠行



南中学校創立70周年記念式典（文化会館）

※議長は採決に加わっていません。

人事案件

▼教育委員会教育長・委員

市長から、教育委員会教育長及び委員の任命についての議案が提出され、議会はこれに同意しました。

○教育委員会教育長

有田 るみ子氏
(元彦成小校長)

○教育委員会委員

小川 詠二氏
(元彦系中校長)

森野 一英氏
(元市医師会会長)

▼江戸川水防事務組合

議会議員

組合議会議員として、次の4名が当選しました。この組合は三郷市、春日部市、松伏町及び吉川市で組織し、江戸川右岸の水防に関する事務を共同処理するものです。

酒巻 宗一 議員

和田 司 議員

篠田 正巳 議員

本間 雄一郎氏 (消防団長)

わたしも ひとこと

読者の 声

転ばぬ先の「自助」「共助」「公助」

自営業 50代 戸ヶ崎在住

映画「シン・ゴジラ」を観ました。映画では内閣府の会議の中で、何度か「想定外」という言葉が出てきます。

阪神・淡路大震災などの巨大地震では様々な公的機関が、たくさんの想定外があったと発表しました。それは、震度5程度の地震を想定していたからです。

昭和56年に制定された新耐震基準は震度6強から7程度でも倒壊・崩壊しない基準となっていて、建て方に問題がある家を除けば震度7でもほとんど被害を受けていないそうです。お互い助け合って、震度7に耐えられる建物100%を実現し、いつ大地震が来ても大丈夫な街になればと思います。

さくら猫

会社員 40代 鷹野在住

以前は、春先や秋口に仔猫の姿をたくさん見かけましたが、最近ではそういった光景を近所では見かけなくなってきました。そのかわり、野良猫達の中に耳先が切れている猫を多く見かけます。

耳先をV字に切れている猫は、さくら猫（不妊去勢手術をしてある猫）と呼ぶのだそうです。むやみに産んでしまう事やカラスに突かれて死んでしまう、そういった不幸になる猫を減らすために行っていると言います。

エサを与えるなら不妊去勢手術をするという責任が必要だと思います。昔は、家の中に入出入り自由にしていた猫も、糞尿で迷惑かけないように、今では室内飼いをすることが猫にも近隣住民にも幸せな暮らしなのかもしれません。



ミサトハロウィンフェス2016 (にほんブログ村)

議会あれこれ

陳情・要望を受理

○9月定例会では、陳情2件、要望1件を受理しました。

視察研修を行いました

○21世紀クラブ・政志会・公明党・市民派クラブ：10月6日・7日に岡山市で開催の第78回全国都市問題会議に参加しました。
○共産党・市民派クラブ：10月19日・20日に静岡市で開催の第11回全国市議会議長会研究フォーラムに参加しました。

他市からの行政視察がありました

○「日本の読書のまち」及び「土地利用と開発行為」について：7月11日・12日に長野県安曇野市議会公明党
○「土地利用」について：7月12日に白岡市議会総務常任委員会
○「親の学習」及び「日本の読書のまち」について：7月21日に徳島県阿南市議会新生阿南
○「日本の読書のまち」について：7月27日に大阪府四條畷市議会なわて政新会
○「自治基本条例」について：8月16日に岐阜県中津川市議会新国会
○「日本の読書のまち」について：10月25日に大阪府寝屋川市議会文教常任委員会

みさと市議会だより(第167号)

発行 三郷市議会
編集 議会だより編集委員会

〒341-8601

埼玉県三郷市花和田648-1

TEL 048-9300-7768(直通)

FAX 048-9530-1358

URL: <http://www.city.misato.lg.jp>